今年度議題として取り上げる地域課題等について (案) (山武長生夷隅)

【当圏域における議論状況等について】

- 2025 年に向けた医療提供体制(医療機関間の役割分担と連携)について議論を進めようとしている。
- 議論の前提となる病床機能報告が、定性的な基準に基づき各医療機関が病棟単位で機能選択する制度であり、中小規模のケアミックス病院の実態を十分に反映できていないため、病床機能報告の集計結果と地域で感じている実態に差異が生じている。
- 今後議論を進めていくためには、まず地域の実態を反映したデータを作成し、それを共有していく必要があり、まずは診療報酬に基づく病床機能の実態把握を行う。

【今年度の議題について】

〇 病床機能実態把握調査

圏域内の病院(一般・療養病床)を対象に、「病床機能実態把握調査」を実施し、 当該医療機関の特定の4日分の各患者に対する医療投入量をもとに、患者の分布な ど地域の実態を確認する。

➡ 調査概要については資料5を参照

○ 平成31年度の調整会議に向けた課題抽出

病床機能実態調査に基づく患者分布を参考に、山武長生夷隅地域の課題や来年度 以降に調整会議で取り上げていく事項等について意見交換を行う。

病床機能実態把握調査(案)について

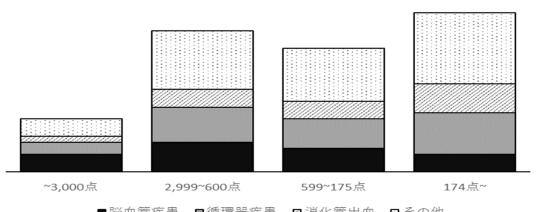
- 目的 -

必要病床数算定の考え方に準じて、診療報酬を用いた病床単位の調査を実施 することにより、医療資源投入量に応じた患者分布を確認し、地域の病床機 能の実情について整理する。

調查項目 (案)

- 特定の4日間における各患者に対する医療投入量の把握 調査項目:診療報酬額、算定する入院基本料、リハビリテーション料、 早期リハビリテーション加算の有無(全項目患者単位)
- 特定の4日における各患者の緊急入院及び退院後の状況把握 調査項目:緊急入院に該当する患者の入院時の傷病状況、退院後の状況 (傷病の状況は「傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準」の分類に準じる)

調査イメージ



■脳血管疾患 ■循環器疾患 ☑消化管出血 □その他

調査後の方向性 ——

- O 医療資源投入量に応じた患者分布や緊急入院(待てない急性期)の患者割 合などを確認し、地域で必要とされている機能の充足状況等について意見 交換を行う。
- O 季節変動等によるデータの偏りなども想定されるため、今回の試行結果を 踏まえて、今後のデータ収集の進め方などについて検討する。

≪検討課題例≫

- 調査継続の可否
- (継続する場合) 調査頻度・期間、患者の流出入を把握する必要性、削除・追加する調査項目など

緩 調面票 山武長生夷隅地域における病床機能実態調査

[記入要領] 基準日(平成30年0月0日、0月0日、0月0日、0月0日)に、貴院に入院していた患者の状況について1人1行でご回答をお願いします。

: 基準日1日分の診療報酬点数(総点数)を記入してください。 1日当たりの 診療報酬

: 基準日に算定した入院基本料をリストから選択してください。 : 基準日に算定したJ//ビリテーション料 (HOOO~HOO8) の点数を記入してください。

算にする入院基本料:リルピ・リテーション科:ロルピ・リテーション科:早期ハハピハトーション加算の有無:緊 急 入 院 の 該 当 :

: J/Nビリテション料に早期J/Nビリテンョン加算が含まれる場合にOをつけてください。 : 当該患者が緊急入院(救急搬送以外も含む)に該当する場合にOをつけてください。 また、緊急入院に該当する場合、「入院時の状況」欄の中から該当する状況にOをつけてください。 : 調査日時点における当該患者の状況を以下のリストから選択してください。 「入院中」「家庭へ退院」「施設入所」「他院へ転院」「死亡退院等」「その他」 呉 ≰ в 溆 迡 閿

の終回は、	返 が後 の	「リストから選択】																			
	みの街																				
入院時の状況(緊急入院に該当する場合、該当する分類に○をつけてください)	精神科	Υ ij																			
	眼球単独	損傷																			
	開盟	(A)																			
(をつけ)	小児																				
分類に○	妊産婦																				
亥当する	中																				
場合、調	熱傷																				
該当する	外德																				
急入院に	題 群																				
況 (緊急	消化管出	=																			
入院時の状	循環器 疾患	(急性冠症候群)																			
	脳血管 疾患	(脳卒中疑い)																			
	重篤																				
取名 7 腔	※記人院 の該当 [該当時に○]																				
早期	J/化"リテーション 加算の有無	[該当時に○]	1	 				1 1 1 1 1 1 1 1										1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			
リハピ・リテーション料 (占)		(岸)		 										: :				 			
算定する入院基本料		「リストから選択】																			
10 34 50	10当だりの診療報酬	(岸)		1				 										 		! ! ! ! ! !	
	五華田				OROB			OROE	OROE		O ∄ ○⊟	OROE		O月○日	OROE	0 月 0日	O ∄ ○⊟	O ∄ ○B		OAOB	0 月 0日
	影 %		1		2		3			4			2			9		-	7		

_	32	_
	UL	

9

資料

部会設置の目的

- 非公開での協議の場を設置することにより、経営や患者に関する情報を踏まえた議論につなげる
 - で議論することにより、本会議に提出する課題整理を行う 関係する病院等(担当者)

圏域の状況と部会の方向性

- 圏域が広く、山武・長生・夷隅の各 地区における現状に差がある
 - 分担や連携に係る取組みや議論を踏 各地区において実施されている役割 まえて、3地区の合同部会で課題整 理を行った上で本会議に報告する

【H30年度部会における主な議題】

- 療資源投入量に応じた患者分布を確 診療報酬を調査することにより、医 認し、地域の病床機能の実情につい て整理する
 - 特に待てない急性期患者の状況につ いて実態を整理する

各地域や各医療機関で把握する課題等 について、3地区合同の部会の場で 集約することにより山武長生夷隅地域 全体の地域課題の整理を行う。 報告することで外部公表を行う 部会での協議結果については、 4回目の会議(本会議) 自主的取組 各医療機関 各地域や における 部会は非公開 合同部会 3地区の 部会の開催イメーツ 必要に応じて 各地域で事前検討 自主的取組 各医療機関 各地域や における 本会議

洲 部会の委員

3地区医師会をコアメンバーとし、検討議題に応じて関係者を追加。

- 34 -	
--------	--